

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	● 研究の名称 人工知能を用いた在院日数分析システム作成に関する研究
	● 研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院の 2018 年 4 月退院患者～2023 年 3 月退院の全 DPC 入院患者
	● 研究の目的 現在の日本での入院会計制度は、診断群分類（DPC）制度を用いた診断群分類別包括評価支払い制度（DPC/PDPS）が主流です。 DPC/PDPS では各 DPC に全国的な平均在院日数で設定されている区分（期間 2）があり、病院経営的観点では非常に重要視されている指標です。 また在院日数が長期にわたると日常生活動作（ADL）の低下等により、退院後の生活の質（QOL）が著しく低下する可能性があるため、患者 QOL の観点からも（期間 2）以内に退院させることが推奨されます。 しかしそのデータ分析や院内フィードバックは各医療機関の分析担当者が行っており、担当者のスキルによって分析力に差が出てしまうことが問題点として挙げられます。 また、在院日数を入院時に予測できると効率的に病床を運用することができます。それは病床稼働率という指標で表され、（期間 2）と同じく病院経営的観点より非常に重要視される指標です。効率よく病床を稼働させることにより、病院経営的観点だけでなく、病院としてより多くの患者さんの受け入れが可能となり、地域医療にも貢献することが可能となります。 これらの課題や問題点を解決するために、人工知能を用いて在院日数分析が可能なシステムの作成を目指します。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	● 研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2024 年 3 月 31 日まで
	● 他の機関に提供する場合には、その方法 院内で取得された DPC データ / レセプトデータや各種検査データを、匿名化用のソフトウェアを用いて院内で特定の個人を識別不可能かつ復元できないとした状態に匿名化し、当院の研究責任者および研究分担者が責任をもって管理します。 匿名化された個人情報を含むデータは、パスワードで保護された状態で電子的に当院から共同研究機関（株式会社 JMDC）に提供します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	● 研究に使用する試料・情報 DPC データ（匿名加工化後） ・ 生年月日（100 歳以上は 100 歳に一括り） ・ 診療録からの情報（病名、受診歴 等） ・ 診療報酬明細書（レセプト）情報 医療機関情報・保険者情報・診療行為情報・医薬品情報・特定器材情報等 採血データ ・ 研究対象者のすべての採血データ
利用する者の範囲	● 機関名および責任者名 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 齋藤岳児 株式会社 JMDC 熊谷 典安
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 齋藤岳児
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止	本研究は、誰のものが分からないように匿名化し、復元することもできない状態にした情報を使用するため個人が特定できず、同意の撤回があっても対応することができません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

(受付方法含む)	
資料の入手 または閲覧	この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。しかし、あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合でも、使用する情報は無記名のため、個人を特定して情報を取り出すことはできず、対応することができません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 病院経営支援課 担当者： 加藤真嗣 TEL： 053-435-2846 E-mail： mkato@hama-med.ac.jp